

2 「豊かな感性と生きる力を育むまち」

(1) 次代を担うたくましい子どもを育成します

新=新規事業、**拡**=拡充事業 (事業名の頭に標記)

新 学府くりはら教員等配置事業

戦略5

5, 302万円

(担当 : 学校教育課指導係)

きめ細かな教育活動を行うため、市独自に教員を採用して35人学級を編制することにより、学校生活の基本となる学習習慣や生活習慣の着実な定着を図りました。

拡 スクールバス運行事業

戦略4

2億5, 902万円

(担当 : 学校教育課学務係)

スクールバスを運行し、遠距離通学園児・児童生徒の通学の安全確保と教育環境の整備を図りました。

新 学校ICT環境推進事業

戦略5

3, 129万円

(担当 : 学校教育課指導係)

栗駒南小学校と築館中学校をモデル校としてタブレット端末を導入し、基礎的な情報活用能力を身に付けるとともに通常授業における活用効果検証のための整備を行いました。

新 幼保一体化施設整備事業

戦略4

5, 532万円

幼稚園整備事業

戦略4

3, 391万円

【H26年度への繰越額 5, 079万円】

(担当 : 学校教育課教育環境推進係)

幼稚園3年保育の早期実現に向け、築館地区の幼稚園施設建設に着手しました。また、更なる推進として、志波姫地区と栗駒地区の幼保一体化施設の設計を行いました。



平成27年4月開園予定の築館幼稚園の完成イメージ

学力向上のための緊急プロジェクト

戦略5

980万円

(担当 : 学校教育課指導係)

宮城教育大学と連携した長期休業中の中学生の学びの場「もっと学びたい子どものための『学府くりはら塾』」の開講や、学び支援コーディネーターを活用した小学生版「学府くりはら塾」、小・中学校の全ての児童生徒を対象とした学力調査など、総合的な学力向上を行いました。



「学府くりはら塾」で学ぶ小学生

新 教育研究センター設置事業 352万円

戦略5

(担当 : 学校教育課指導係)

教育研究センターを開設し、栗原市の教育課題の検討や指導方法の研究、児童生徒の学力向上を図るために基本構想を策定しました。

青空大使派遣事業

827万円

戦略5

(担当 : 社会教育課生涯学習係)

市内中学2年生20人をオーストラリアに派遣し、現地学生との交流やファームステイを通じ、国際感覚豊かな人材を育成しました。



ホストファミリーと涙のお別れ

2 「豊かな感性と生きる力を育むまち」

(2) 人生を楽しむための実践機会を充実します

新=新規事業、拡=拡充事業 (事業名の頭に標記)

心にきざむ 文化講演会 135万円

東北楽天ゴールデンイーグルスで輝かしい記録を残し、中日ドラゴンズを最後に引退された、山崎武司氏を講師に迎え「挫折を乗り越えて」と題し、文化講演会を開催しました。

新 ジャズ・コラボくりはら 94万円

市内小・中・高校の吹奏楽部員と、サックス奏者、大山日出男氏ほかプロの演奏家との合同演奏会を行いました。演奏会前にプロの演奏家から直接指導を受け、共演することにより、素晴らしい刺激を受け、児童生徒にとって人生に大きく影響する貴重な体験となりました。

文化芸術振興事業 2,611万円

文化芸術を創造し、文化的な環境の中で生きる喜びを見出すことができるよう、質の高い文化芸術に触れる機会の提供を行いました。

(担当:社会教育課文化スポーツ推進係)



ジャズコラボくりはら 2013

「大山日出男氏と栗原市内小中高校生との合同演奏会」

新 スポーツ施設整備事業（築館陸上競技場・一迫多目的競技場） 1,090万円

【H26年度への繰越額 791万円】

(担当:社会教育課文化スポーツ推進係)

築館陸上競技場のアウトフィールドの改修工事や、一迫多目的競技場の人工芝張替のための実施設計を行いました。



改修した築館陸上競技場のアウトフィールド

新 若柳総合文化センター改修事業

8,715万円

(担当:社会教育課文化スポーツ推進係)

利用者の安全性の確保とサービスの向上を図るため、舞台照明の改修を行いました。



新しい舞台照明でのホール事業

(3) 地域に根ざした文化の振興と歴史の継承を図ります

伊治城跡史跡整備事業 4,051万円

(担当:文化財保護課文化財係・埋蔵文化財係)

史跡伊治城跡（指定面積：96,481.47m²）の保存保護・活用と後世への継承を図るため、史跡を購入しました。



史跡伊治城跡 全景

3 「健康や生活に不安がなく

(1) 子どもを安心して出産でき

優しさと思いやりに満ちたまち」

健やかに育てられる支援を行います

新=新規事業、拡=拡充事業 (事業名の頭に標記)

■ 乳児保育事業

戦略4

618万円

(担当: 子育て支援課保育サービス係)

生後4か月児から受け入れる保育所を2か所から12か所に増やし、入所の利便性を図りました。また、若柳川南保育所の保育室を改修し、乳児の受入れを拡大しました。



乳児保育の様子

■ 低年齢児保育施設助成事業

戦略4

186万円

(担当: 子育て支援課保育サービス係)

認可外保育施設に運営費を助成し、運営の安定化を図りました。

放課後児童クラブ等運営事業

戦略3

9,836万円

(担当: 社会教育課生涯学習係)

共働き家庭などの、おおむね10歳未満の児童を預かる放課後児童クラブ等を市内全地区で実施しました。

そして、放課後の適切な遊びや生活の場の提供から、健全な育成を図りました。

■ 地域子育て支援センター運営事業

戦略3

1,382万円

(担当: 子育て支援課保育サービス係)

地域全体で子育てしやすい環境を推進するため、育児不安を抱える母親の相談や子育てサークルの育成支援等を行うセンターを市内9地区で行いました。

■ 児童虐待防止対策事業

戦略3

386万円

(担当: 子育て支援課子ども・家庭福祉係)

児童虐待をなくすため、関係機関と連携し、相談員3人体制での相談対応を行いました。

また、児童虐待防止に関する専門的な研修を実施し、要保護家庭を支援するスタッフの資質の向上を図りました。

■ すこやか子育て支援金支給事業

戦略3

2,209万円

(担当: 子育て支援課子ども・家庭福祉係)

少子化対策及び子育て世代の定住促進を目的に、出生祝金及び入学祝金を支給しました。

また、平成25年度から入学祝金の支給要件を拡大し、小学校入学の6か月以上前に住民登録している場合にも支給しました。

助成件数

■ 出生祝金

第1子、第2子	2万円	312件
第3子	5万円	63件
第4子	10万円	16件
第5子以降	20万円	5件

■ 入学祝金

第3子以降	10万円	101件
-------	------	------

3 「健康や生活に不安がなく (1) 子どもを安心して出産でき

優しさと思いやりに満ちたまち
健やかに育てられる支援を行います

新=新規事業、**■**=拡充事業 (事業名の頭に標記)

一時保育事業 戦略3 1,217万円 (担当:子育て支援課保育サービス係)

保護者のパート就労や病気、冠婚葬祭、育児等に伴う心理的・肉体的負担の解消のため、市内10か所の保育所で、一時的(緊急的)にお子さんを預かる事業を実施しました。



一時保育受入れの様子

■ 特定不妊治療費助成事業 戦略3 299万円 (担当:子育て支援課子ども・家庭福祉係)

少子化対策の充実を図るため、医療保険が適用されず、高額の治療費がかかる特定不妊治療費を助成し、経済的負担を軽減しました。

平成25年度から1年度あたりの助成回数を、申請1年度目は3回、2年度目以降は2回まで拡大しました。

(通算5年間で10回まで)

助成件数 32件

■ 子育て応援医療費助成事業(乳幼児分) 戦略3 8,449万円 ■ 子ども応援医療費助成事業(小中学生分) 戦略3 8,424万円 (担当:子育て支援課子ども・家庭福祉係)

乳幼児、小学生、中学生の適正な医療機会の確保と子育て家庭における経済的負担の軽減を図るため、入院及び通院に係る医療費のうち、保険診療による自己負担額を助成しました。

平成25年10月からは所得制限を撤廃し、現物給付での助成を行い、すべての世帯で県内での子どもの医療費窓口負担をゼロにしました。

助成延べ件数
乳幼児分 56,471件
小中学生分 43,023件

■ 親子ふれあい促進事業 戦略3 83万円 (担当:子育て支援課保育サービス係)

14か所の保育所を巡回しての育児相談や親子すくすくメモリアルダイアリーなど、親子のふれあいを大切にする取組みを実施しました。

■ 母子保健健康診査事業 戦略3 5,533万円 (担当:健康推進課保健指導係)

妊婦の異常の早期発見・早期治療を促すとともに健康管理の向上を図るため、引き続き妊婦一般健康診査14回の助成を行いました。

また、乳幼児健診は2か月児から3歳児までの疾病の有無や、成長発達の確認、育児の相談を医師、歯科医師、保健師等の専門職が行いました。

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(2) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります

新=新規事業、拡=拡充事業 (事業名の頭に標記)

拡 予防接種事業 2億519万円

戦略3 (担当 : 健康推進課健康推進係)

感染のおそれがある疾病的発生・蔓延を予防するため、予防接種を行いました。

平成25年度から中学生までの「インフルエンザ」、「ロタウイルス」、「流行性耳下腺炎」、「水痘」の予防接種を無料化しました。

B C G、3種混合（ジフテリア、百日咳、破傷風）、4種混合（ジフテリア、百日咳、破傷風、ポリオ）、不活化ポリオ、麻しん及び風しん混合、日本脳炎、ヒブ、小児肺炎球菌、子宮頸がんワクチン、高齢者インフルエンザ、水痘ワクチン、流行性耳下腺炎ワクチンの予防接種など

健康診査事業 1億6,465万円

(担当 : 健康推進課健康推進係)

市民の健康保持や病気の早期発見のため、各種健康診査・がん検診等に対する支援を行いました。

また、がん検診推進のため、対象年齢の方に無料クーポン券を配布しました。



健診の様子

いのちを守る総合対策事業

1億191万円

(担当 : 社会福祉課社会福祉係、
健康推進課保健指導係)

市内の自殺者数は、徐々に減少しているものの、増減を繰り返すことから、自殺防止キャンペーンや自殺防止講演会、こころの健康サポートー養成研修会、多重債務電話相談、栗原市のぞみローンによる資金融資などの自殺防止対策に取り組みました。また、小中学生等を対象とした金融教育の普及啓発も継続しました。



こころの健康サポートー養成研修会の様子

消費生活相談事業 816万円

(担当 : 産業戦略課商工振興係)

専門知識と経験のある消費生活相談員を配置して、市民の契約や電話勧誘販売など消費生活での困りごとの解決に努めました。

相談件数 : 175件

[相談窓口]

月曜日～金曜日 9時～16時まで
(祝日・年末年始除く)

専用電話 0228-22-1501

[相談場所]

築館農村環境改善センター 1階事務室
(市役所本庁舎隣、ふるさとセンター)

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(2) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります

新=新規事業、拡=拡充事業 (事業名の頭に標記)

新 難聴児補聴器購入助成事業

9万円

(担当 : 社会福祉課障害福祉係)

身体障がい者手帳の交付対象とならない難聴児
(平均聴力30デシベル以上70デシベル未満) に
対して補聴器の購入支援を行いました。

助成件数 4件

障がい者地域生活支援事業

9, 036万円

(担当 : 社会福祉課障害福祉係)

訪問入浴サービス事業

自宅での入浴が困難な身体障がい者に対し、訪問入浴サービスを行いました。

日中一時支援事業

障がい者に日中活動の場を提供し、家族の就労支援や介護の負担を軽減するための支援を行いました。



補装具等の巡回相談の様子

日常生活用具給付等事業

重度障がい等に対し、日常生活の便宜を図るため特殊寝台や紙おむつなど日常生活用具を給付、貸与しました。

相談支援事業

障がい者等からの相談に応じ、必要な情報の提供を行いました。

自動車運転免許取得費・改造費助成事業

障がい者の自動車運転免許の取得費用、自動車を改造する費用を助成しました。



就労セミナー時の物販の様子

移動支援事業

屋外での移動が困難な障がい者の方が外出する際の支援を行いました。

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(3) 高齢者が生きがいを持ち 互いに支え合うまちを目指します

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

高齢者生きがい健康づくり事業 戰略6

6, 278万円

(担当 : 社会福祉課社会福祉係)

生きがい活動支援通所事業

交流の輪を広めながら通所により軽体操や創作など活動（ミニデイサービス）を行い、高齢者の社会参加を促しました。



高齢者福祉タクシー利用助成事業

通院が困難な低所得の高齢者に対し、通院のためのタクシー利用料金を助成しました。

「食」の自立支援事業

高齢者のみの世帯に対し、宅配による給食サービスを行いました。

生きがい活動支援通所事業の様子



生きがい活動支援通所事業の様子

軽度生活援助事業

高齢者のみの世帯に対し、ホームヘルパーを派遣し、軽易な日常生活上の家事援助を行いました。

高齢者日常生活支援業務利用助成事業

高齢者のみの世帯に対し、庭の清掃や除雪作業など日常生活の支援を栗原市シルバー人材センターに依頼した際の経費を助成しました。

緊急通報体制等整備事業

自宅でのひとり暮らし高齢者等に対し、家庭用緊急通報システムの貸し付けを行いました。